

第3回講座 資産を増大させた実践者とVガンマトレードの市場をついに公開

こんにちは持田有紀子です。

前はブイガンマトレードの実践動画をご覧いただきました。

今回は実際に実践されている方々のインタビューと、
そしてVガンマトレードの市場について解説していきます。

まずはVガンマトレードを実践されている
方々のインタビューをお聞きください。

・実践者：柴田さん

柴田と申します。

歳は今43歳です。

仕事はシステム会社を経営しています

僕ですね、持田さんに出会うまで
ほぼ投資未経験だったんで、全くの初心者ですね。

持田さんのことなんか、雑誌かなんかの特集記事で
目にする機会があって、
人柄ですとか、それから初心者である僕でも
取り組みそうな手法だなあという風を感じまして、
それでチャレンジしてみるっていう形の始まりですね。

ほんと僕は持田さんのトレードを真似しただけなんで、
驚くほど簡単でしたっていうのが感想になってしまいますけど、
もうほんと、その時に持田さんよりちょっといい条件で
トレードができたんですね
なので、初月、これほんと忘れもしないんだけど、
12万円が40万円になったっていうですね、
本当に嬉しくて、もうほんとこの手法で
続けていこうという風な気持ちに
なったなっていうことを覚えてます。

現在、おかげさまで順調に少しずつですけど
投資金額を増やしていくことができたんで、
月に200万から300万円ですね、

その前後で平均してちゃんと利益が出るようにはなってきました。

そうですね、まあ向いてる、僕もそうですけど、本業があるような方ですとか、本業があってそこまで時間が取れないよっていう方々って多くいらっしゃると思うので、そういう方には非常に向いてるんじゃないかなというふうに思います。

やることほんとシンプルですし、簡単なんで、簡単でいてもですね、まあ僕は投資初心者だったんで、最初ちょっと用語のところで苦戦したんですけども、ここは調べて慣れることによってですね、全く問題はないんですけども、それをクリアしてしまえばもう本当簡単な手法だなというふうに感じています。

なので僕なんか、友人ですとか、なんかトレード教えてとか、あるいは収入を少しでも増やしたいという風な相談を受けた時には、もう必ずといって持田さんの手法をおすすめするようにしていますね。

うーんそうですね、持田さんにハマってしまうっていうのがですね、一番じゃないかなというふうに思います。トレードを持田さんが毎日公開してくれてるんで、ほんとそれを見て、持田さんのトレードを真似しながら、自分のスキル磨いていくっていう風なことが重要なんじゃないかなというふうに思っています。

まあ本当真似する中で、本当タイミングにもよりますが、投資金の2倍から3倍ぐらいになるっていうのは本当ザラにありますので、期待していただいていいと思いますそうですね。

今後はほんと本業もありますので、やっぱりそこを疎かにしない、これやっぱり僕の中では重要だなというふうに思っています。

このトレードって、ほんと時間はあまり使わずに
できるので、真似をしながら、自分自身のスキルを
磨いていくということを常々心がけています。

何よりですね、僕は持田さんのおかげで
趣味として投資っていうことに
ハマり出したっていう気がします。

はい、ほんと自分に合ってるんじゃないかなと
いうふうには感じてますので、持田さんのおかげで
本当にいい投資のスタートを切れたな、
というふうには感じてます。

これからも頑張っけて続けていこうかなと思いますので、
ぜひ持田さんよろしく願いいたします。

・村木さん

こんにちは、村木です。
33歳で、今は独立して投資家としてやっています。

もともとはプログラム関係の仕事だったんですけども、
今はほとんど投資で生活しているような状況です。

持田先生には長くお付き合いをしているので
毎回同じ話になってしまうんですけども、
先生と知り合い、今では株やFX、投資信託などをやっています。

そうですね、一番最初に株の学校、
トレードの学校に70万円ほど出して通ったんですけど、
あなたの勉強が悪い、みたいなことを言われて、
ちょっと先生の教え方が熱心じゃなかったかなと思うんですね。
結果を出してない人が8割9割ぐらいいて、
結果出してる人がほんの1割ぐらいのようなところですよ。

また、他の投資とかもいろいろ試したんですけども、
一時的には儲かるんですけど、まあコツコツというんですかね、
大きくやられてしまったりして、
継続して儲からなかったなっていうのがあります。

1回のトレードで儲かる額が大きいから、

非常に面白いなと思ってます。
儲からない時はトントンぐらいで、安全ですけども、
1回で400万円とかすごく儲かる時があるので、
その数字がどんどんどんどん増えていくので
本当に面白いなと思っています。

月によってバラバラなんですけれども、
200万円から400万円程度です。
もちろんトントンの月もあるんですけども、
何ヶ月後かにチャンスが来た時に
大きく回収しているような感じです。

やればやるほど奥が深いです。
そのボラティリティを取っていく手法なんで、
基本的には淡々とできると思います。
あとそうですね、少ない資金で儲けたい人にも
向いていると思います。
どちらも組み合わせてやるといいといいかなと思います。

自分はコツコツ儲かる方法と
大きく儲かる方法2つあるんですけど、
両方組み合わせてやっているような感じです。

ずっと使えるので、将来的に使えなくなる
不安が全くなくて、よく巷で流行ってる
仕様とかではないんで、ずっと恒久的に
続けていけるところがいいかなと思っています。

他のトレード手法と全く違うので、
1回やってみてもいいかなと。
市場自体が面白いですし、
相場の上下を考えなくていいのはすごく楽ですね。

普通だと、なんか上がるのかなのかなって
気を揉むと思うんですけど、そういうのが一切ないです。

持田先生のおかげで独立の夢が叶ったので、
今趣味を充実させているような感じですね。

結婚もできて、家庭も充実してます。
家族の目標もどんどん形になっていくのが

嬉しいってところです。

今後も先生にはお世話になると思います。

これからもよろしく願い致します。

・田中さん

田中です。

年齢は47歳です。

主婦をしています。

持田先生に出会う前の投資歴は全くありません。

今までやったことはありませんでした。

そういうのに触れる機会がなかったのですが、

知り合いからこの方法を教わって興味が出ました。

初月から稼げたのが印象深いです。

持田さんの方法は手を動かすだけで

うまくいたのでありがたいです。

特に持田さんのトレードを

参考にできるのが大きいです。

将来の不安がほとんどなくなりました。

今はほとんどパートも行っていないです。

変動はありますが、いい時は50万円ぐらいです。

投資をやっとうまくいっていない人はいいと思います。

近所の友達に教えて一緒にやっていることもあります。

感謝されます。

初心者にも向いていると思います。

子育てや仕事に忙しい合間にできるので、

忙しい人も取り組みやすいです。

仕事しながら家事や育児は体力的に辛くなるので、

どこかで投資を始めた方がいいです。

今は趣味の時間を充実できたので、

今の生活を維持できれば十分幸せです。

子供の教育費用もたまったので、

特に心配事はないです。

いざという時のために貯金にも回しながら
今の生活を続けていきたいと思います。

・岡田さん

岡田と言います。

44歳、投資家です。

株やFXファンドや投資信託など、
様々な投資をしてきました。
積立もやってますどれも、いまいちですね。

株は当時ネットで有名な先生に
教えてもらっていたんですが、
トレーニングが大変で挫折しました。
講義は面白かったんですけど、
実際にトレードを自分ですると、うまくいかないです。
FXもうまくいっていませんし、
ファンドも100万円ほど入れて、
2ヶ月で全損してしまいました。

積立と投資信託以外はうまくいきませんでした。
ちなみに、投資信託はもう回復しましたが、
1回のトレードでの儲かる額が大きいという印象です。
かかる時間と儲かる額のバランスがすごくいいですね。

持田さんのエントリーを参考に
できるのもありがたいです。
最初はそのままやるだけでかなりの利益になりました。

平均すると月に200から500万円ほどです。
マイナスの時もありますけど、
だいたい3ヶ月以内には大きく取り戻せています。
ちなみに2ヶ月前はマイナス60万円だったんですが、
1ヶ月前でプラス400万円になりました。

生活でいうと、イタリア製の家具を買ったぐらいです。
生活というよりも、取り組む投資と取り組まない投資が
明確になりました。

今 YouTube で色々な情報がありますが、
流されなくなりましたね。
取捨選択のレベルが上がったんだと思います。

これほど時間がかからずに
リターンが大きい投資をしてしまうと、
他の投資をやる気になりません。
それに、誰かに任せるよりも、
自分で運用する方が安心できますし。

トレードにあまり時間をかけたくない人に
向いてると思います。
決められたことを実行できる性格の人にもおすすめですね。

損小利大がいいのはみんなわかってると思うんですが、
結果がついていかない人はやってみたらいいと思います。

何よりも、持田さんと一緒に
トレードできる環境がいいです。
誰かと一緒にトレードしたい人は向いてると思います。
勝てるタイミングがどういうものかというのを
体験できると思います。
タイミングによっては、初月に回収できると思います。

始めた頃より資金が大幅に増えて行って、
もうすぐ2億円に到達するんですが、
このまま投資家として運用を続けていきたいと思います。

いかがでしたでしょうか？
実践されている方々の成果ご覧いただけたいと思います。

インタビューの中から
もうお分かりいただけたいと思いますが、
稼げる理由について3つに分けてお話ししたいと思います。

まずその理由の一つ、
相場が上がるのか下がるのかというのを予想しない
というのがありますよね。

そもそもどっちに相場が動くか考えなくてもいい、
これは初心者も当然そうですし、プロになったとしても
たとえ予想が当たっていたとしても、その予想が当たるのが
いつになるかわからなかったりしますよね。

でも、これは全然予期しない時に
勝手に動き出してくれたりするわけですから、
いっぱいいろんなことを研究したり、
そして勉強したりするっていう
下積みの部分っていうのがなくてもできます。

要は、そうした忍耐忍耐、みたいなトレーニングが
必要ないということになります。

そして、理由のその2としては、
取り組む時間が極端に少ないです。

とにかく月に1回という方もいるという風に言いましたけれども、
まあ、数回の方も結構たくさんいらっしゃいますし、
そもそも1回にかかる時間というのがとっても少ないです。
なので、2分1回のトレードであれば、
慣れてなければね、ちょっと操作に手間取って10分、
というようなこともないとは言えなくはないですが、
まあ少なくとも、慣れれば10分なんて絶対にかからないので、
2分のもの、それを合計しても、月に数回やるにしても、
合計で10分とかっていうことになりますよね。

この取り組む時間が少なくて済む、
そしていつでも入れるというのは本当に、
要するに、自分が手の空いた時貼りたいなど
思った時に入っておけばいいだけなので、
いつでも始められる、いつでも辞めるという、
その自由度もあります。

取り組む時間も選ばないし、
自分のその生活スタイルも選ばないという意味では、
全くこれを始めたことによって、生活が乱されるとか、
いきなりPCに張り付いて頑張んなきゃいけない、
というようなことも全くありませんから、
そうしたことも長く続けていける、取り組むことができる、
その結果、成果を出せるということの2つ目の理由になります。

3つ目ですけれども、
損失限定であるということ、
かつ莫大に儲かるチャンスというのが
意外に頻繁にあるということなんですよね。

喪失はエントリーの際に、もうそこで決まります。
要は、自分が払ったお金以上のものを
払う必要がないということですよ。
ですから、その後相場がどんなことになっても
プラスになる方向にはいくらでも喜ばばいい話ですし、
逆に反対側の損失が出たと言っても、
自分が最初に払った以外のお金より、
思わぬところでもっとマイナスになるっていう、
それもないです。

なので自分のその懐事情というのも分かった上で
投資に取り組んでいくことができますから、
そういう意味でもとても扱いやすいですし、
にもかかわらず、チャンスがあって、
倍になったり4倍になったりということがありますから、
とても成果が出しやすいです。

あまり経験がなくても、そのまま時間もかからないし、
気軽に取り組めるしということになります。

これが損失限定なのに、でもそれでもチャンスはいっぱいある、
しかも莫大なチャンスも待ち構えているという、
そういうものである、そういう市場であるということ、
これが成果が出せる理由の3つ目になります。

そして特定のイベントなんかの時には、
まあ大きく稼げるチャンス、
要は特定のイベントというのはあらかじめ分かっている
イベントで構えていることもできるという、
そういう準備体制を整えておくこともできるという
意味でもとても扱いやすい、取り組みやすい、
やりやすいというトレード手法になります。

このあらかじめわかっている大きなイベントといえばですね、
例えばアメリカの大統領選挙なんていうものが
挙げられるんじゃないかと思いますが、
まあこのアメリカの大統領選挙というのは、

内緒のアメリカが、超大国であるということもそうですし、
経済力、軍事力も世界ナンバーワンですから、
このアメリカの大統領が誰になるかによって
その後の世界っていうのがすごく変わってきますよね。

すごく重要なビッグイベントになります。
前回の大統領選挙の時も大きく動いたんですけども、
例えばここにあるのが、その前回の大統領選挙の時の
Vガンマの市場の一つの銘柄の動きですが、
これそもそもですね、2020年の11月3日が投票日だったんですが、
日本時間だとちょっとずつずれますよね。

開けてかの開票するというのもありましたが、
その日のうちには勝敗がつかなくて、
最初はトランプ優勢かと言われていたのに、
その後どっちかどっちかっていう話になって、
最後、ペンシルベニアでバイデンが勝ったということで
ようやく11月の7日になって勝利宣言をしたんですよ。

勝利宣言をしたところから急激にこの動きが見られて、
これ10倍近くの大きな動きになったということが
ここ見て取れると思いますが、何でこんなに
この大統領選挙で動くのかといえば、
アメリカが超大国で、その後大きな影響を及ぼすということも
間違いなくそうなんですけれども、
例えばこのバイデン政権一つを考えてみても、
どんなことが起こったかといえば、
それまでのトランプ政権に人気のあった政策、
要は多分、あのままオバマの後に民主党政権が続いていたら
やらなかったであろう中国に対する強硬姿勢ですよ。

それがあまりに国民の評価というか、
そういうものを得たということもあって、
全くそれに相反するような形でバイデン政権が
やっていったということもあるんですが、
それ以外というのは、このバイデン政権自体は
学生ローンの猶予期間を設けて、
返済をしなくていいですよっていうようなものを設けるとか
免除するというのを約束して通ったところもありますよね。

その反トランプを身につけて言ったということもあるんですが、
結局のところ、大きな財政赤字をたくさん、

大きな財政支出を伴っても、
いろいろな人にお金を配り方って言ったら、
まあ言い方はアメリカらしくないんですけど、
はっきり言えば、どちらかというと
そういう政策なんですよ。

ということは、バラマキ型というのはこれ、
私ちょうどこの大統領選挙の時はあのイベントで
この解説をしていたので、
自分で話したのでよく覚えてるんですけども、
バイデン政権になったらきっとインフレに
なるよねっていう話をしたんですよ。

実際このバイデンが決まった後に、
このインフレになるということは、
それに向かって株であったり、金利であったり
というものが動くんですが、そうしたものに反応して、
このVガンマンの市場でもこれだけの動きが出ています。

現実、そのインフレの話からすると
そうなるよねとは言ったものの、
コロナ待って余計それが、あのバイデン政権の
ばらまきのところがひどくなって、
余計そのインフレがひどくなって、
まさに今のみんな、私も含めたみんなのこの苦しい
今の日本の状況が生まれてるわけですが、
そのアメリカの大統領のやる政策っていうのが、
結局世界中にすごく大きな影響を及ぼしてしまうので、
まずこのビッグイベントなんですよ。

このビッグイベントは来年またやってくるわけですし、
これはもういつあります、っていうのが分かっていますから、
最初からそれに向けて、自分がその体制を整えて仕込んでおけば、
その時に要するに大きく動くということなので、
これはあらかじめ用意もできるで、
入る時も日頃、毎月やってる人もいるって言ってましたけれども、
それだけではなくて、この大きなイベントに向けて
そここのところに絞って入るということもできますし、
この大きなイベント、あの大統領選挙は4年に1回ですけども、
例えばマーケットを動かすという意味で言うと、
経済指標であったり、あと日銀の話をしましたけれども、
日本の中ではとにかく、この後始末的なフェーズに入っている、

日銀の会合のたびに何か起こるかもしれないということも予測がつくわけで、これも会合がいつ来るかっていうのがわかるわけですから、今日はあらかじめ分かっているものに対して、それに自分が入る用意だけしとけばいいということなので、とてもやりやすいですし、だからこそあんまりね、経済のこととか、そんなマーケットのこととか、いろんな詳しい知識がなくても、意外に一般のニュースなんかだけでもやれるということになります。

まあこの大統領選挙は4年に1回のものですけれども、もっと頻繁にあらかじめ分かっているイベントというのはありますよね。

だから例えば、大きな経済指標であったり、それからなんといっても、日本はこれから先、異次元緩和の異様な緩和の後始末をしていかなければいけないフェーズに入ってきますから、日銀の会合っていうものも、これから先、毎回毎回注目されていくことになると思いますけれども、特になぜそうなのかといえば、もうYCCを止める、いつか辞めなきゃいけないにも関わらず、YCCって予告してやめるものではないので、きっと突然辞めるだろうってみんな思ってるんですよ。

だからこそ日銀会合は、いついつこの時期にやりまして、年間の発表があって、それを着々とやっていくんですけれども、みんなそれが来るたびに身構えるということがずっと起こってきますですから、そうすると、日銀会合のたびにとかっていうふうに今なるわけですが、そうした、そのあらかじめ分かっているイベントに入るで身構える備えるということ準備をしておくってことですね。

それによってこの10倍とか20倍というのを狙っていくことができるということも当然そうなんですけど、じゃあこれまでお話ししてきたその専売っていうのは、じゃあどんな感じになのっていうことを、こういう普通の時で大きく動く時と比べてみればわかるので、リーマンショックの時の話をしたいと思いますけれども、これはアメリカのリーマンショックの時の株価の動きです。

ちなみに、これは21世紀に入ってから

リーマンショックが起こるまでの動きを全部表しているわけですが、リーマンショック、これは代表的なアメリカの株価指数であるS&Bの数字になりますけれども、そもそも90年代のITバブルに向かっていった2000年にITバブルが崩壊するまでというのは、多分順調に上がってきていたので、リーマンショック21世紀になる時にはですね、このSPも1500ぐらいのところ、1550とかね、まず要するに、1600近くのところにいましたと、それがITバブルが崩壊してどうなるのかなと思っていたら、ダメ押しで9.11のが起こって、同時多発テロが起こって、さらにに伴ってイラク進行ということもあって、こんな風に株が1回下がりますよね。

でその後はそうしたこともあって、当時はブッシュ、子供の方だったわけですがけれども、大統領に当選した後というのはですね、そのまま人気を取るという意味もあって、アメリカの中でお金を持っていない人でもおうちが持てるということを標榜して、サブプライムという商品を盛んに、お金のない人でも持てるようなものになったのがまあ過剰になって、それが不動産バブルにつながっていったところになるわけですが、結局この時もずーっとそれに向けて、どんどんこうね、景気が良くなっていった、不動産市況が活況になっていった、お金なくても住宅を買った人は、その住宅を担保にお金が借りれる、そうするとまた消費ができる、という感じで、もうすごく絶好調な感じになってですよ。

でも、だんだんその資金の裏付けのない人でも家を買えるという状況になった時に、まずいぞという銀行がちょびっと出始めていて、もともとこのリーマンショックに至るまでにも大きなショックのように思うけれども2年間かかったという話をしましたが、そもそもこの2年も、2007年の初めあたりから、ここにね、ちょっと陰線が出てますけれども、この辺りからサブプライム問題というのが意識されるようになりました。

それまではみんなこう、そんなに問題なのって
というような感じだったんですよ。
それでも本当の最後、リーマンショックに至るまでには
結局2年かかってますというの、最初のうちはポロポロっと出てきて
欧州にもまた飛び火して、またアメリカにも戻ってきて
ということがあっても、それなりに救済をすることがあったんですが、
最後リーマンの大手のところに至ってはですね、
まあそれまでの金融機関大手の金融機関が、
ウハウハ状態で儲けているというね、
このリーマンショックの後に、ウォール街を占拠せよ
みたいな話がありましたけれども、
そういう儲かっているのは許せないというね、
庶民感情的に許せないというようなこともあって、
結局、あの破綻という道を選んだことに選ばささえ、
国民の世論もあってなんですけれども、
選ばざるを得なくなって、結局本当に破綻することになって、
こんなに大きく暴落したということなんです、
ただ結局、これ見てみると、1600 ぐらいだったものが
結局 650 とか、700 ドル割れるところ、
700 ポイント割れるところまで下がってるんですよ。

ということは、これ実に
60%も株が落ちてるっていう事なんですよ、

60%って考えてみると、今 10%でも株が下がったら大騒ぎして、
この V ガンマで相手にしている市場では、
20 倍 30 倍ということが起こり得るんですが、
60%ですよ、だからこれが普通にある
この揺れのなんかがあるねっていう時の、
まあその 10 倍分とかで 10 回分ぐらいが一気に来るっていう、
こういう状況が訪れた時は、結局 1000 倍ぐらいには
簡単になるって事にもなるんですね。

日本株のこの動きもそうなんですけれども、
やっぱり日本の株もアメリカの株が上がれば、
日本の株もやっぱりつられて上がるものです。

これは欧州の株もそうなんです、
株が上がる時というのは、
世界的にどこも株が上がるものですよ。

アメリカの株を β にしてということになるんですが、

日本の株もずーっと長らく 90 年代のね、
デフレの時代があったにもかかわらず、
このアメリカの株のおかげで、
18,000 円台を回復してっていうようなことがあったんですが、
結局これもリーマンショックが起こった時に
同時に別にリーマンショック日本で起こったわけじゃないのに、
結局日本も大きく下がって、これ日本の方が
下げが強かったんで、60%以上、
やっぱり下がっているという感じになります。

これだけ大きく動く時ってというのは、
だからもう、その日頃たまにちょっと触れて、
何時までになるね、って言った時の 10 回分とか
20 回分が来るということを、
一気に来るということを考えると、
容易に 1000 倍になるということも想像が
つくんじゃないかな、と思います。

この時のドル円なんかもそうですが、
まあ本当にブルンよく動きましたよね。

126 円ぐらいのところから 1 回 100 円を割れて、
それがまた 112 円ぐらいまで戻ってでも、
もう 1 回 2 番、底をつけに行って 80 円近くまで下がって、
また 100 円に戻って見たら、すごくこの期間にも、
すごく荒い値動きをしますよね、ということは、
こういう時というのは、もう 1 回の 1000 倍とかではなくて、
とにかくずーっとこういう状態がしばらく
リーマンショックの時なんか続いていたので、
チャンスという意味では、ずーっとこの一時期、
チャンスという意味ではいっぱいあったってことですよね。

まさにあのマネーショートに出てくる話というのは、
この V ガンマで相手にしているマーケットの、
この V ガンマのやり方をそのまま、これはマーケットで、
マーケットではやっていないんですが、
まあ大儲けをした話、映画にも後になっていましたけれども、
まさにこのリーマンショックどうせ来るよね、
ってこんなに株が異様に上がってて、大きく崩れるよね、
と言っていて、それがまさにやってきて、
それが当たってということになるので、
同じことが同じようなことが起こった時には

起こり得るということなんです。

ちなみにですね、他のマーケットも見てみると、
これ最近価格、これアメリカの10の動きなんですけど、
これね、詳しくは知らなくてもいいんですけども、
普通は今の、例えばレベルで言うと、115だったものが
116とかになっただけでも、結構な大騒ぎで、
もう117とかね、そのビッグフィギュアでの2ポイント動くとか、
もう大変な大騒ぎなマーケットになるんです。

この間の銀行破綻の時も動いたと言っても、
あの115が116とか、1.5ぐらい動いた程度なんですけど、
それでもあれだけの大きな動きになるんです。

この時といえはですね。もう104だったところが。
こうね。130とか超えてくるということなので。
もう異様ですよ。

こんな30ポイントも再建価格が動くっていうのは
まずもってありえない、それだけものすごく混乱した状態が
少なくとも長期にわたって、マーケット、
あの日々チャンスがあると言っていますけれども、
これはもっと長い期間、例えば、
これは2007年から2009年までの終わりまでを
とっている和音を2年間を取っているわけなんですけど、
2年間の間にこれだけブルンブルン動いていたという、
とっても異様な時期だった、
逆にこういうVガンマが相手にするような
マーケット相手にする場合には、
チャンスがいっぱいあったということになります。

ちなみに原油価格なんかもですね、
147ドルというね、史上最高値をつけた後、
リーマンショックで一気に33ドル台ですから、
もう75%がね、1/4になって、75%がなくなったという、
すごい動きしていました。

ですから、こういう時にはもうとにかくもう
有無を言わず、もう狂気乱舞する以前に、
まあもうとにかくこうなったらね、
マーケットに張り付いて、ガンガンやっても構わないと思います。

そのぐらいの大きなチャンスが、大きな揺れが訪れる時には、
いっぱいチャンスがあるということです。

それがただ明日来るかどうかは別問題ですけども、
そういう時にはそのぐらいも受かるし、
少なくともそういう備えを持ってれば、
そういうものが来た時には、自分がそれに乗っていくことができる、
要するに、ある意味準備ができているという状態ですよ。

では乗っていけるということなので、
このね、Vガンマの手法を自分が身につけて
おくというのは大変いいことじゃないかな
というふうに思います。

ちなみに、こんな異様な話ばかりをしていると、
異様なものがないとっていう方に目が行きがちですが、
基本的には、日々の中にもそういう触れを起こすような
話というのがいっぱいあって、例えば、
これあの、前々回の大統領選というの、
バイデンが出てきた時と同じように、
もっと言うと、トランプの時の方がびっくり、
トランプ、何でヒラリーじゃないの本当に、
トランプっていうそっちのびっくり感が強かったの、
バイデンの時よりもたくさん動いたわけですが、
トランプが大統領になった後というのは、
すごく本人がそれまでやってきたことを否定して
中国に強硬に出るのもそうですし、
ありとあらゆること、イラクやシリアから撤退するとか、
そういうことをどんどんやってきたということで、
全く報酬を覚えませんが、やってきたことを
変えてきたという中で、いろんな今までと違うことをする、
そうすると大きく政策が触れる、経済も触れる方向が変わる
ということ、これが全部マーケットに前景を及ぼすんですよ。

2019年というのは、そのトランプ政権が
対中に強硬に出た後の続きの中の一つのトピックで言うと、
例えばその強硬に出て行ってどうなるんだ、
ってみんな思っている中に、宮内に財務長官が
北京を訪れました。
どうやらなんか、マイルドに来そうだけど、
という話がちょびっと出ました。
そしたらそれだけで、いきなりこのあの時の動き、

2019年3月ですけれども、8枚ぐらいになってますね。
だから大したニュースないのに、
結構そのぐらい動いてしまうということなんですよね。

例えば、そういう例をいくつか出したいと思います。

これは同じく2019年の9月ですね。
この時はもう後になって考えれば
そんなニュースでねっていうような話なんですけれども、
やっぱりこれも8倍ぐらいになっているんですが、
この時何が起こったかというとですね、香港の問題です。

この時も今の行政長官も変わってしまっていて、
当時はもう完全に中国よりの行政教官が変わりましたけれども、
当時はまだマイルドに見えた女性の行政長官でしたよね。

この頃民主化を求める若者のデモというのが
すごく激しくなっていて、それが行方がこうね、
世界中が見守るような状態になっていましたが、
その時に、この行政長官が逃亡条例というのを
作ると言っていた、ローマ撤回しそうだぞという
ニュースが出ました。

そしたらそれだけでこの10円ぐらいだったものが80円に、
要するに大きく上昇したってことなんですよね。

後から見れば、これ本当に大きなうねる波の中の
本当に一つのささみの波、一つのニュースでしかないわけですが、
それでもこれだけ、8倍ぐらい動くということになります。

触れるというものを取っていく、
揺れるというものを取っていくという例で言えばですね、
これは同じく2000、これは17年トランプ政権ができて
直後ぐらいの話ですけれども、当初の外交政策を
転換して北朝鮮との対話方向に大きく舵を切って、
初の米朝会談というのが行われるというような
事態にもなりましたが、それに至るまでの間というのは、
北朝鮮はバンバン今でもミサイル飛ばしてますけれども、
あの頃からバンバン飛ばすようになりましたよね。

そうすると、北朝鮮は一体どうなるんだ、
北朝鮮とそのアメリカのトランプは何するかわからないというね、

いわゆる、あの地政学的な話で言うと、
マッドマン戦略って言うんですけども、
要するに、狂人のふりをすることによって、
相手が脅しをかけるというやり方で、
そのマッドマンの、要するに大事だというような感じで
マーケットの方もですね、同じようにそのマッドマン戦略
同時での狭間にあって揺れてたんですよ。

そうするとこの簡単に、こう2倍になったり1/2になったり、
でもやっぱり4倍になってみたり、2倍になってみたり、
というようなことが振れているのがわかりますよね。

こういうのがいっぱい、大したことが後から考えてみれば
大きな流れの中では、というようなことが、
すぐいっぱい起こるといのがこのマーケットの特徴です。

これ一つこういう風になっていますが、
これと同じような動きをする銘柄というのはこれだけではなくて、
たくさんあるということなんですよね。

最後にご紹介したいのはもう一つ、
すごく大きな特徴だと思いますけれども、
急に動くということです。

これ5分足で見てるんですけども、
何かニュースが起こった時に、それまで全然動いていなかったものが
急に朝起きたら発売になっていました、というね、
そういうなんか寝てまで家宝みたいなね、
寝てるうちに、家宝は寝て待ってということみたいに急激に動いてて、
どうせ損失は限定なので、自分はもう気にしなくていいや、
って思っても、突然それが朝起きたら利食いがついてました、
びっくりしました、っていう風におっしゃる方がいるんですけども、
本当にそういう動きをします。

なので、これもなんかもうやはり、5分足で見えていますけれども、
突然なんか大した話もなかったのに、なんとなくある状況の中で
2倍になって利食いが来ちゃった、っていうようなこともありますし、
あれっていうような、この5分足で見ても急に来るんですよ。

なので、出して待っておけば、自分が要するに
月に1回2分入れたものが、気がついたら大きな
利食いになって出てきているというね、

そういうマーケットになります。

なので、このご紹介された方々も、
簡単に利益が出しやすかったというのは、
こうしたマーケットであるからっていうことが
今の実例の中でもわかるんじゃないかと思います。

こんな風に気がついたら大きな利食いが
できていたということなので、
1回のトレードで100万儲かっちゃったという
女性の方がいましたけれども、
これ10万円を投資していたら1000万円になっていた、
ということになるんですよ。

それだけ激しいし、チャンスもいっぱいあるという市場です。

ちなみに、このVガンマトレードが扱っているものは
何かといえばですね、日経225オプションの市場です。

オプションと聞くと、オプションという言葉自体は
いろんなところに使われているので聞いたこともあると思いますが、
日経オプションって言うとなんか何それって思う方もいるでしょうし、
場合によっては、なんか金融デリバティブらしいということで、
難しいんじゃないか、という風に思われる方もいるかもしれませんが、
今までこの塾生の方々の説明でわかるようにですね、
アプローチの仕方があまりにも簡単なので、
知らなくてもそのツールと方法さえ知っていれば
できるという、とても簡単な方法、
これがVガンマトレードになります。

ちなみにこの日経225オプションの市場というのは、
これを使って昔過に痛い目にあったという方も
中にはいるんじゃないかと思います。

これはまさに最初の頃にお話ししたように、
真っ当な方法そのマーケットが持っている
本質的な部分を無視した端っこの方法をとってやったから
痛い目に遭ったってということでもあるんですよ。

チキンを飛ばしてしまった、
とんでもないことになってしまったという人の例は
どうしてこうなったかというとですね、

このオプションというものが金融デリバティブの商品として日本に紹介された頃というのは、企業も含めて日本の会計制度に問題があって、盛んに売りから入るという手法を取っているトレードをするところが多かったです。

この会計制度がおかしかったからが理由なんですけれども、要は、売ると売っただけのお金がもらえるんですね。

例えば 1000 万円自分がオプションを売りましたというと、売ったその 1000 万円が自分の口座に入ってきます。それでそれをそのまま自分の資産としてカウントすることができたんですね。

今もうできないんですよ、
だけど当初はそれができたということもあって、
企業なんかではそれを使うと、
少なくとも BS、自分が財務表が綺麗にお化粧された状態になるとかね、
結構それはそれで使い勝手が良かったんですよ。

ところがこれってお金ももらえるしで、
結局それによって日々ズーっと毎月毎月確実のお金が儲かっている、
それこそとんでもない、ああいうリーマンショックが起きた時、
もしくはリーマンショックほどのことではなくても起きた時に
ドカーンとやられてしまうことになるんです。

そうすると、せっかくそれまでコツコツコツと
毎月お金が入ってきたはずなのに、
ある日突然、ボンッともうすごい大きな穴が開いてしまう
ということになって、場合によっては
本当に会社が傾くほどの大きな損失を出して、
というようなことが実際にいくつも起きていたということがあります。

ですから、もうそれ以来オプション市場には
近づかないっていう人もいるかもしれません。

ただそういうやり方を全く取っていないのがこの V ガンマです。

ですから、基本はそのコツコツと地道にやるんですけども、
まず一番簡単な 1 つ目の手法においては、
2 倍になる 4 倍になる、もしくは運が良ければ 100 倍であったり、
もしくはもっと運が良ければ 1000 倍であったり
目指すということをやっている、

かつ、状況編としては、ゼロの状態から始めて、
あとはいかに積み上げていくかっていうね、
その触れて行く中で、どんどん積み上がっていくっていう、
そういうその2つの側面を持ったものなので、
あー怖かった、あの市場ではなく、
その全く逆の状態で取り組んでいくことになるので
安心して取り組める方法になります。

ということで今回は、Vガンマトレードの全貌を公開します。

今日も動画ご覧頂きましてどうもありがとうございました。
コメント欄にコメント記入していただければ
素敵な特典をプレゼントいたしますので、
どんどんコメント欄に記入をしてください。

そしてLINEの読者様限定で、最新の情報、
そしてこの動画では言えなかったことなども発信していきますので、
ぜひLINEの方も登録してみてください。

それでは、今日も動画をご覧いただきましてありがとうございました。